

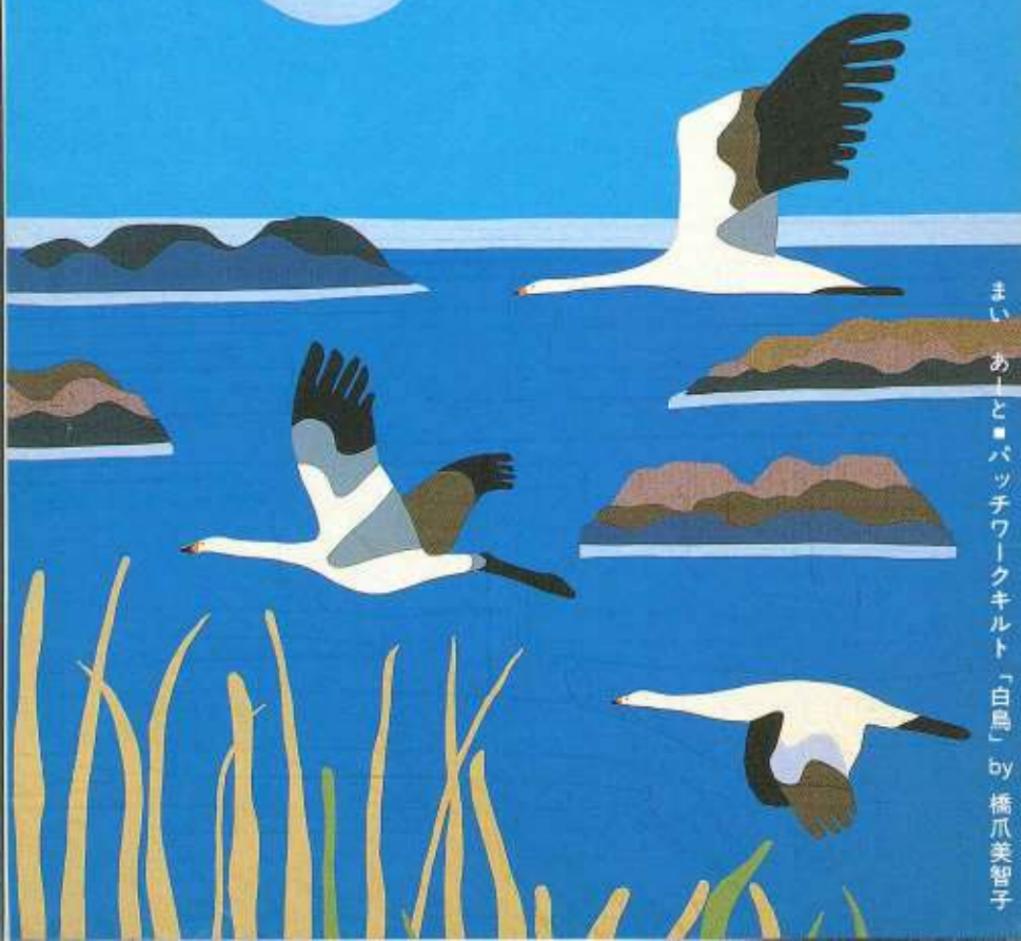
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくとびあん

7

(EKUTEBIAN VOL.12 JULY 1994 EKUTEBIAN)



まい
あと・バツチワークキルト「白鳥」
by 橋爪美智子



なんの変哲もない五目かけ御飯である。写真に撮るのだからぜひ逸品を、とお願いしたら平然として、だが丹念に料理してくれたあたり大陸育ちを伺わせる。中国飯店『精華樓』(曙町2丁目)は昨年秋に開店したばかり。7年前に大連から親子5人で日本に渡ってきた。松中団地(一番町)に住み、祭りの時に餃子の屋台を出したら飛ぶように売れた。そうだ、みんなで力を合せれば飯店が出せる。長男の康さんが東京・六本木で6年間修業後に開店した。お父さんは会社勤めから帰って餃子つくり、お母さんが店長格、弟さんと妹さんはまだ学生だが学業以外はホールを受持つ。康さんのレパートリーは広く、中国独特の薬膳料理、紅焼甲魚(特製スッポンの醤油煮込み)など。名店への底力を秘めて、今日も一家の奮闘が続く。年中無休。

撮影：井上義治



◎陶芸教室開催中

◎7月10日より東由山、典男親子2人展開催

東陶房

柴崎町2-9-2 電25-0079

戦康の 什錦檜飯



二人のはじめは たまごが三つ



先生
遠山好幸さん

生徒
長田正人さん(錦町)
早川美和さん

めでたく婚約もどとのい、挙式
も間近かというカツブルに耳より
なお話。

披露宴は、二人が力を合せてこ
しらえたウエディング・ケーキで
演出してみてはと、ユニークな提
案をしたのは「アルミエール」(一
番町2丁目)。だか
らと云つて、ズブ
の素人がいきなり
人前に出せるケ
キが出来るわけで
はありません。だ
け、お立ち合い。
はじめタドタドシ
イ手つきの二人が
段々、シェフの指
導よろしきを得て、
しまいには二人
の意見が違つてきたりして。そし
て、完成品はご覧の通り。
もうじきゴールイン。手づくり
ケーキも身につけたし、この二人、
うまくいきそう。人生、いいもん
だなあ。



撮影:五来孝平

先生二夫妻と記念撮影



うちのやブルマン	羽衣町1-18-17	24-9280
立川商店	羽衣町2-30	22-3565
みずほ弁当	羽衣町2-3	22-9597
赤松タバコ店	羽衣町2-42	24-7852
中島豆腐店	羽衣町2-12-34	22-5723
和風レストラン 菓屋	羽衣町2-27-9	26-3698
ヤマザキテイストア	立川商店	朱町2-46-3
永光薬局	朱町2-58-7	26-0206
カットハウス ポーツ	朱町2-59-8	26-6716
美容室 アリス	錦町1-15-21	25-1100
coffee shop 遊香	錦町1-4-24	27-3840
ステーキのりフレ	錦町1-8-3	27-1630
そば青柳	錦町2-1-27	28-2345
TAPAS	錦町2-2-29	29-0733

三田花店	錦町2-5-23	24-4187
セガミ薬局	錦町2-7-8	25-8212
マルミヤスポーツ	錦町2-7-8	22-2912
JJA経済センター	立川店	砂川町2-4-43
JJA東京みどり	立川支店	砂川町2-4-43
ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	22-1122
中華料理 みよし	柴崎町2-10	25-3873
石原薬局	柴崎町2-10-3	23-4067
ロッテリア	立川砂川口番店	幸町4-38
立川文庫	高松町2-1-23	25-8617
カットハウス ポーツ	高松町2-5-9	26-6716
横町屋菓子店	高松町2-11-23	22-2809
新藤青果店	高松町2-3-13	22-6443
ブティック リッチ	柴崎町2-3-10	28-2054
キャノン01ショップ	柴崎町2-3-6	28-1501
フレンド書房	高松町3-18-2	27-1555
やきやき亭	高松町3-21-4	25-6658
CAFE-RESTAURANT TIP-TOP	高松町3-27-27	25-2030

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!

炎天が続く昨今ですが、酷暑は秋の美しさが束縛されているものと云われます。先の季節に希望が持てる少し、先の季節に希望が持てるのも四季の名物の一つです。

太陽から、熱ければ熱いほどのが、今は社会復帰を目指しリハビリに励む方のための作業施設。会場も地元で結んで行こうと、地域生活が困難となつた少女は歳を重ねる毎に一局一局を丁寧に打ち並べ、ついには名人同様に由緒あるタイトル「本因坊」に。今回、六月五日、安田水災杯第40回記念日本本因坊決定戦の予選を兼ねた、多摩文字通りの「多摩本因坊」となつたのは慶應大学3年、梅澤由里さん(柔美町)「一戦、終焉」。その後の頭を使いついた壮快さ、は腕味噌で汗をかいなうとしておも気持ちが良い」とスポーツ選手のようなさわやかさ。

本因坊の「ソツ」は「脳膿瘍で汗をかく」。

本因坊の「ソツ」は

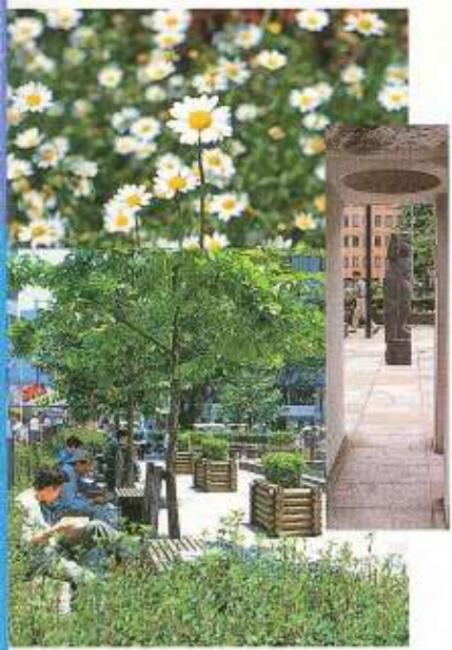
「六歳から始めた習い事は大抵手のようなさわやかさ。

立川トピックス

まだまだ「棕櫚停」が手づくのコンサートを開催

六月十二日、多摩社会教育会館で「まさらもけらコンサート」

が開かれた。精神障害者共同作業所「棕櫚停(しらわていじ)」が主催し、その運営を応援するボランティアグループ「外野手」が中心となり、「一年がかりで準備してきたもの」。「棕櫚停」とは本来、健康で働いていた方が何らかの精神障害を負い、地域生活が困難となつた人がて、街があります。あなたがて、立川があります。そこにはちょっとだけ、えくてびあん!リストのお店にはいつでもえくてびあん!



噴水の切れ目から北口の街が見える。夜にはネオンが水を都会色に染める。背後では、再開発が進々と……。ここにいるじわざかでもいろいろな立川が眺められる。

元竹子の
PARKS....

心地よい。木もれ日。子供たちの遊び声。今年は公園と話す。
第7回 市制50周年記念公園

